



Title	詞林 第12号 表紙/目次
Author(s)	
Citation	詞林. 1992, 12
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67322
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

詞林

SHIRIN VOL.12(1992年10月)

第十二号

桜が散ること

—古今集桜歌の漢詩文基盤—

滝川 幸司 (1)

忠平の禁色聽許について

—蘇芳(下)襲を通して—

島田とよ子 (22)

成尋阿闍梨の渡宋

—『成尋阿闍梨母集』覚え書き—

伊井 春樹 (32)

接続詞「でも」「それでも」「ところが」「それどころか」をめぐって

赤羽根義章 (74)

十一号目次（一九九二年四月三十日）

十号目次（一九九一年十一月十日）

紫の上の運命と明石の君
——「初音」巻を中心に—— 胡秀敏

秀敏

菊亭本『文机談』の性格

——伏見宮本との比較を中心—— 中原香苗

香苗

「西行物語」に描かれた西行像

——文明本を中心として—— 山崎淳

淳

解題——坂上是則と「是則集」—— 堤和博
定家本「是則集」について……伊井春樹

中世末期口語における「テゴザル」と「テゴザックタ」
——中世語動詞のテンス—アスペクト体系の一斑—— 阿部真弓

福田嘉一郎